# 地域計画

策定年月日	令和7年3月31日				
更新年月日	( )				
目標年度	令和17年度				
市町村名 (市町村コード)	湖西市 (222216)				
地域名 (地域内農業集落名)	新居 (栄町・泉町・中町・高見・西町・上田町・中田町・俵町・船町・源太山・日ケ崎・若磯・杣川・高師山・松山・大倉戸・内山・郷南・郷北・新居弁天・港町)				

#### 1 地域における農業の将来の在り方

### (1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	72 ha			
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積 72 ha				
② 田の面積	49 ha			
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	23 ha			
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0 ha			
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	11 ha			
(参考)区域内における75才以上の農業者の農地面積の合計	10 ha			
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	10 ha			
(備考)				

### (2) 地域農業の現状及び課題

地区南側は主に砂地の畑で、土地所有者や市内他地区の担い手による耕作が主であるが、農地1筆が狭小且つ相続未登記地が多く、農地の集積集約が困難となっている。

地区南側の市街化区域内にも砂地の畑が多くあるが、宅地と畑が混在しており、農薬散布や大区画化等により効率化を図る大規模経営体への集積集約が難しい。

地区内南側には、観光農園を中心としたイチゴなどの施設野菜が盛んである。

地区南側の水田は主に市内他地区の担い手及び他市の農業支援サービスにより耕作されているが、耕作放棄地が 目立ってきている。

地区北側から中央は水田が多く、一部パイプラインによる取水が可能だが、主には用水路からの取水となっている。 地区北側、中央の水田について、地区内の農業者及び土地所有者が耕作を担っていたが、高齢により離農する者が 増えている。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

イチゴ、トマトを中心とした施設野菜を生産している地域内の担い手、タマネギ、キャベツ等の露地野菜また水稲を生産している市内他地域の担い手へ集積集約を図っていく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

p					
(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針					
農地バンクへの貸付けを進めて	つつ、担い手(認定農業	者)への農地の集積・集約化を基	本とする。		
(2)担い手(効率的かつ安定的	な経営を営む者)に対す	ける農用地の集積に関する目標			
現状の集積率 10 % 将来の目標とする集積率 80 %					
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標					
農地バンクへの貸し付け状況により、団地数の半減及び団地面積の拡大を検討する。					

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(	1	)農用坩	也の集積、	集団化	との取	組

農地中間管理機構を活用し、認定農業者を中心とした市内他地域の担い手に農地の集積を図る。 他市の法人等の参入については、今後継続し検討していく。

### (2)農地中間管理機構の活用方法

中間管理事業による権利設定を積極的に進めていく。

### (3)基盤整備事業への取組

担い手のニーズを踏まえ、過去基盤整備した区域の再整備を検討していく。

## (4)多様な経営体の確保・育成の取組

市、とぴあ、県等と連携し、市内他地域の担い手及び漁業者等からの農業参入により、農地の利用を促進する。

### (5)農業協同組合等の農業支援サービス事業体等への農作業委託の取組

水田について、市内他地域の担い手への農作業委託が多く、今後も活用していく。但し、市内の水田の担い手の減少が予測されるため、他市の農作業支援サービスも検討していく。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

		7 THE PT OF THE	<u> </u>	1940	
$\checkmark$	①鳥獣被害防止対策	□ ②有機・減農薬・減肥料	✓ ③スマート農業	<b>□</b> 4 輸出	□⑤果樹等
	ô燃料·資源作物等	□ ⑦保全•管理等	■ 農業用施設	□9その他	
【選:	択した上記の取組内容	1			

①近年イノシシ等の目撃情報が多くなってきており、また、ヌートリアによる水稲への食害も増加傾向にあるため、市の補助金を活用した防護柵の設置、有害鳥獣駆除団体による駆除による被害の軽減を図っていく。

### 4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

	農業を担う者				10年後 (目標年度:令和 17 年度)						
属性 (氏名・名称)		経営作目等	経営面積	人作業受 面積		経営作目等	経営面		作業受託	目標地図 上の表示	備考
認定		施設野菜・水稲・露地野菜	0.5 h	а	ha	施設野菜・水稲・露地野菜	0.5	ha	ha	N-51	
認定		水稲・施設野菜	0.3 h	а	ha	水稲・施設野菜	0.3	ha	ha	N-50	
認定		施設野菜	1.4 h	а	ha	施設野菜	1.9	ha	ha	N-58	
認定		水稲·露地野菜	9.2 h	а	ha	水稲·露地野菜	9.9	ha	ha	N-8	
認定		露地野菜·施設野菜	6.3 h	а	ha	露地野菜·施設野菜	15.8	ha	ha	N-110	
認定		施設野菜	0.4 h	а		施設野菜	0.4	ha	ha	N-140	
認定		養豚	- h	а	ha	養豚	1	ha	ha	N-6	
認定		養豚	- h	а	ha	養豚	1	ha	ha	N-120	
計	8経営体		18.1 h	a 0.0	ha		28.8	ha	0.0 ha		

### 5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名•名称)	作業内容	対象品目
1	Α	田植え・稲刈り	水稲
2	В	田起こし、代掻き・田植え・稲刈り	水稲
3	С	田植え・稲刈り	水稲
4	D	田植え・稲刈り	水稲
5	E	田植え・稲刈り	水稲
6	F	害虫防除	水稲

6 目標地図(別添のとおり)